

“笑顔になるライフスタイル”を考える一日に♪

開港記念日に「ワーク・ライフ・バランス」を実践！ — 市民利用施設を無料開放 —

横浜市では、経済団体や市民活動団体等と連携し、市民と企業に向けたワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。

市内施設の無料開放などのイベントが行われる、横浜開港記念日（6月2日（木））をきっかけに、家族や大切な人と一緒に過ごしたり、働き方や仕事以外の時間の過ごし方を見直すなど、仕事と仕事以外の生活の両方を大切にすライフスタイルについて考えることを呼びかけています。



【実施内容】

経済団体、NPO・市民活動団体等により構成する「横浜市ワーク・ライフ・バランス推進実行委員会」と共に、取組について周知するチラシを企業や市民利用施設へ配布します。

◆施設の無料開放＜6月2日（木）のみ＞

市内の小中学生と高校生を主な対象として、47の有料施設を無料開放します。

※実施施設は別添チラシ参照。

無料で利用できる対象や内容・条件（証明の提示等）は、各施設によって異なります。

◆開港記念日を感じるイベント

開港祭＜6月1日（水）・6月2日（木）＞

初夏の恒例イベント「開港祭」を開催します。

※主催／横浜開港祭協議会（横浜市、横浜商工会議所、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(一社)横浜青年会議所）

☆ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは・・・

仕事と、仕事以外の生活を大切にすライフスタイル。

豊かな生活は質の高い仕事につながり、メリハリのある働き方は生活のゆとりにつながるなど、仕事と仕事以外の生活のどちらも充実させることで、互いに良い影響を与え、相乗効果を得ることができます。

また、個人だけでなく企業にとっても、就労形態や従業員のニーズが多様化する中で、ワーク・ライフ・バランスを推進することが経営戦略の一つになっています。

お問合せ先

【ワーク・ライフ・バランスについて】	こども青少年局企画調整課長 政策局男女共同参画推進課長	渋谷 昭子 平沼 英子	Tel 045-671-4280 Tel 045-671-3691
【無料施設開放の実施について】	市民局地域活動推進課長	大濱 宏之	Tel 045-671-2298